

受験勉強は、1年がかりで行い、第一志望校に合格を果そう！

—まずは、小5生、中2生、高2生は、学年末試験で全教科100点満点を目指し、第一志望校合格を確かなものにしよう—

開倫塾

塾長 林明夫

Q：第一志望校合格のための受験勉強は、いつから始めればよいのですか。

A：(1)受験勉強で、一番大切なのは、「自分は、受験生である」という「自覚」です。「受験生としての自覚」をもって勉強に励むのと、「ただ何となく、入学試験があるようだから、仕方なく、勉強する」とでは、「雲泥の差」「行って帰るほどの差」があるからです。



(2)本題に戻ります。ではいつから受験勉強を始めたらよいか。

一番のおすすめは、「第一志望校」を決定したその日から、「自分で決めた第一志望校」を受験する「受験生としての自覚」を持ち、「自己責任」「自助努力」で、受験勉強をスタートすることです。



(3)①受験勉強をスタートするのは、早ければ早いほどよい。なぜか。

受験勉強は、学ばねばならないことが多いので、スタートが遅いと、入試までに、勉強し終えないことがあるからです。

②できれば、今、この時期。「受験1年前からスタートすること」をおすすめします。

③中学入試(私立中、中高一貫公立校入試)なら、小学5年生から、高校入試なら中学2年生から、大学入試なら高校2年生から、1年間かけて、「第一志望校合格」のための「受験勉強」をスタートすることを、心からおすすめします。

Q：では、小5生、中2生、高2生は、この時期、どのようなことを受験勉強として行えばよいのですか。具体的に教えてください。

A：(1)入試には、今通っている学校で学んでいる全範囲の内容が出題されます。また、今通っている学校の成績(内申点)も、多くの学校で参考にされます。入試に出題される教科はもちろん、入試に出題されない教科も、内申点で評価されます。



(2)ですから、今までに学んだ内容、今学んでいる内容を、しっかり理解し、全部、しっかり身に着け、テスト、特に、こらからなら「学年試験」「定期試験」でよい点数を取り、内申点アップに結び付けることが大事です。受験に出題される教科は、今まで学んだ内容をもう一度、全部、正確に理解し、しっかり身に着け(定着させ)、受験学年に勉強し直さなくてもよいレベルにまでしておくことです。

(3)特に、今まで学んだことの中で、「不得意分野」があれば、受験学年に入るまでに、徹底的に克服しておくことです。

Q：そのためには、今、何を行えばよいのですか。

A：(1) ① どの学校でも、2月の中・下旬に「学年末試験」があります。3月初旬には「実力テスト」があります。「模擬試験」もあります。また、1月から3月までに、英検、漢検、数学・算数検定等の検定試験があります。

② これらの試験を、最大活用。「今まで学んだ内容」を、スミからスミまで理解して、スミからスミまで身に着ける(定着させる)。

③ 「過去問練習」をしっかり行い、各試験で、100点満点を目指すことをおすすめします。

(2) ① まずは、2月にある学年末試験で、全教科100点満点を目指す。

② 12月、1月、2月まで3か月かけ、全教科の1年間の総復習を行うこと。

③ 全教科の学校の教科書・学校問題集、教材、授業ノート、まとめノートを、もう一度、全部ていねいに読み、どのような内容かを、「うんなるほど、これはこういうことなのか」と、「腑に落ちるまで」学び直す、「理解する」ことです。

(3) ① 読み方や、よく意味の分からることばがあったら、辞書や参考書で調べること。

② 「計算や問題」は、もう一度、全部やり直す。なぜそのような答えになるかがわからなければ、よく調べる。

③ それでもわからなければ、学校や開倫塾の先生に質問して、わからないことをなくす。

(4) ① 教科書や問題集が理解できたら、「教科書」を、スラスラよく読めるようになるまで「音読練習」「英語は発音練習」。「大切なところは、何も見ないでいえるまでにする(暗唱)」。

② 教科書に出てる語句は、固有名詞を含め、正確に書けるようになるまで、「書き取り練習」。すべて、「何も見ないで書けるまでにする(暗写)」。

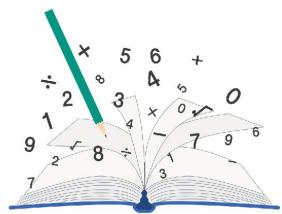
③ 「学校教科書」や「学校問題集」の「計算や問題」は、何回もやり直し、解く(5～6回解くことをおすすめします)。そして、何も見ないでも、条件反射で、答えが出るまでにする。

(5) 「教科書」「問題集」「授業ノート」「まとめノート」は、「スミからスミ」までやり直し、「スミからスミまで全部覚える」こと。そして、学年末試験で100点満点を取ること。「スミからスミまで全部覚える」ことが、「100点満点を取る秘訣(ポイント)」です。

(6) ① スミからスミまでよく理解し、スミからスミまで全部覚えれば、「学年末試験」で、「全教科100点満点」が取れます。受験学年に入り、現在の学年の勉強をしなくても済みます。受験勉強に専念できますから、第一志望校合格にグーンと近づきます。

② そのためには欠かせないのが、「まずは、理解」。次に、「理解した内容」の、「音読練習(暗唱)」、「書き取り練習(暗写)」「計算・問題練習」です。

③ そして最後に、「過去に出題された問題を、5～6回、解く練習(過去問練習)」。



Q：なぜ、「学年末試験の勉強」が、「受験勉強」にとって、大切なのですか。

A：(1)中学入試には、小学5年生の内容がたくさん出題され、高校入試には中学2年生の内容がたくさん出題され、大学入試には高校2年生の内容がたくさん出題されるからです。

(2)①受験勉強だと考え、今の学年の勉強は、受験学年になってやり直さなくてもよいくらい、全部、「理解」し、「定着」させ、「学年末試験」で100点満点が取れるまでしておきましょう。

②特に、「弱点分野」の勉強は、学年末試験の勉強として、徹底的に行いましょう。受験勉強として、受験学年に入る前に、「今まで学んだ内容・分野の弱点分野をゼロ」にしてしまいましょう。受験勉強には、「謙虚さ」が大切です。不得意分野を学ぶときに欠かせないのは、「自分の弱点」を認めて「学び直す」、「謙虚さ」、「素直な心」です。

③しかし、各教科の得意分野は、勇気をもって、入試問題にも挑戦、「入試に耐えられる得点力」を、身に着けてしまいましょう。優れたところは、ドンドン伸ばす。受験勉強に、遠慮は一切いりません。

(3)①このように、「受験生としての自覚」の「自覚」として大切なのは、「不得意分野を自覚して、徹底的に勉強し直す、謙虚さ、素直さ」です。

②同時に、「得意分野を自覚し、過去問に挑戦し、また、小学生は中学の、中学生は高校の、高校生は大学や大学院の、勉強にも挑戦する、チャレンジ精神」も大切です。



③「謙虚さ・素直さ」と「チャレンジ精神」で、受験勉強にお励みください。「受験勉強に遠慮は不要」です。

(4)学年末試験で、全教科、100点満点を取れば、学校成績もぐんと上がり、入学試験の「内申点」も大幅アップしますので、入試では、とても役に立ちますよ。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)そして、学年末試験が終わったその日から、GWが終わる日までに、受験学年の「学校教科書」「学校問題集」の予習を、できるだけたくさん行いましょう。

(2)そうすれば、さらに、「第一志望校合格」の夢は、現実のものになります。

(3)このように、受験勉強は、「受験生としての自覚を持ち」、今日から、1年かけて行うことをおすすめいたします。「自分の未来は、自分で切り開く」、「自己責任」、「自助努力」で行うのが受験勉強です。



では、がんばって！

2025年12月5日記